

障がい者へ配慮した福祉便座設置！

▶ 一般社団法人バリアフリー推進協会 柏木様 左と 佐々木町長 右



オストメイトを含む排泄障がい者の方の利便性向上と、オストメイトの認知度向上のため、一般社団法人バリアフリー推進協会から前広福祉便座2台が寄贈され、7月13日(金)

に役場町長公室にて寄贈式が行われました。

寄贈いただいた便座は、役場1階福祉課脇と保健福祉センター1階の多目的トイレに設置しました。前広便座(e-anza)は、通常の洋式トイレ便座よりも前部分が広がっているため、オストメイトの方のパウチ処理・自己導尿・採尿・排泄介助などに便利な福祉便座です。

命の大切さ・尊さを学ぶ！

▶ 赤ちゃんが目が合った！



7月18日(水)に利根中学校3年生対象の『赤ちゃん抱っこ体験授業』が実施されました。

生徒たちは、『いのちの授業』の講義後、サプライズゲストの赤ちゃんたちと対面し、初めて赤ちゃんに触れる生徒も多く、最初は抱っこに対して抵抗があった様子でした。

ですが、次第に赤ちゃんたちの可愛さにメロメロとなり笑顔が溢れていました。

未来のパパ・ママとして“いのちの温かさと重さ”をしっかり感じてもらえたようです。

快挙を成し遂げたもんまっこ！

自転車競技を通じて、児童に自転車の安全走行に関する知識と技能を身につけ、交通安全への意識の高揚を図ることを目的として、毎年開催している「交通安全子供自転車茨城県大会」が7月4日(水)、ひたちなか市総合運動公園総合体育館にて行われました。

第55回を迎えた今大会は、県内の各代表29チームが参加し、取手市・守谷市・利根町の代表として出場した文間小学校(選手6名)が、約1カ月間の練習の成果を発揮し、見事団体の部で4位を、個人の部においても9位入賞を果たしました。



自分を信じ、仲間を信じ、全力を出し切ったもんまっこ！



1. 完成された防火七夕。園児たちの願いが込められた素敵なお飾りです。2. 暑い中みんな楽しくできました。3. 「どこにつける〜?」お友達と相談しながら飾り付け！

7月2日(月)、利根大和幼稚園の園児たちによる、防火七夕が行われました。当日は、ほし組園児18名が利根消防署に集まり、利根消防署の方や女性消防団員の方と一緒に、防火についての願い事を短冊に書き、竹に飾りました。黙々と真剣な顔で飾りつけをした子もいれば、「飾りいっぱいある〜。さらさらしてる〜」と笑いながら飾り付けをした子などがいました。完成された七夕飾りは、役場1階イベントホールに飾られ、火災予防の啓発が行われました。

「かさい0」を目指して！

防火七夕に願いを

また、午後からは第25回輪投げ大会が開催され約180名が参加し、集中して投げている方、会員の方と話しながらかけている方など、楽しい一時となりました。



いきいきクラブ利根(老連) 老人大学・輪投げ大会 町の話題 PHOTO NEWS



優勝 宮本楽遊会B



2位 布川台クラブA



3位 紫会A

7月4日(水)、利根町公民館において、老人大学ならびに輪投げ大会(主催いきいきクラブ利根(老連))が開催され、午前中開催の老人大学には、老人クラブ会員約250名が参加し、永年勤続表彰および活動表彰や講演が行われました。講演は、公益財団法人日本民謡協会の吉川幸晴先生らによる「地域の歴史を唄い継ぐ『民謡』と解説」が披露されました。尺八や三味線の音色にあわせ、唄われる民謡に、観客は終始聞き入っていました。また、時折り入る先生の冗談に笑いが起きたりと、どこかアットホームな雰囲気漂っていました。観客の方に話を聞くと、「尺八や三味線が唄とあってよかったわよね。」や「あのヴァイオリン…いいね。」などの感想が聞かれました。また、午後からは第25回輪投げ大会が開催され約180名が参加し、集中して投げている方、会員の方と話しながらかけている方など、楽しい一時となりました。

笑って健康！ 動いて健康！



【活動賞表彰】 榮寿会(交通見守り隊) 【永年勤続表彰】 水田 俊雄さん(プラチナ会) 若松 亮さん(榮寿会)



1. 見事な唄を披露された若松さん 2~3. 素晴らしい公演で観客を楽しませた日本民謡協会の方々 4. スタートの合図で輪を投げ始めます。意外と難しい…。 5. チームメイトのナイススローに拍手を送ります 6. プレイヤーも満面の笑み！